

生物工学若手研究者の集い 夏のセミナー2015顛末記

(生物工学若手研究者の集い 夏のセミナー2015実行委員長) 蟹江 慧

本年度の生物工学若手研究者の集い(若手会)・夏のセミナーは7月11日～7月12日の日程で愛知県北名古屋市・タナベ名古屋研修センターを会場として開催されました。今回の夏のセミナーでは、『異種格闘技戦』をテーマにし、『異分野』の交流が促進されれば、という願いがありました。特別講演では、なるべく広い分野の方をお招きできればと思い、合計7名の御講演者様に講演をしていただきました。また、初の試みとして懇親会でのポストイットディスカッション、ポスター受賞者の講演や名刺を使用したイベントなどを企画いたしました。名古屋という地の利を生かし、例年の1泊2日のセミナーよりも少し長めに時間を設定いたしました。せっかく年に一度、全国からわざわざ暑い中足をお運びいただくのですから、より濃密な時間を参加者全員で過ごしたいなという、幹事代表のわがままでもあります。そんなわがままにも関わらず、全国からたくさんの方が参加してくださり、おかげさまで、一般56名、学生76名、計132名の若手研究者(格闘家)が、親睦を深め、有意義な時間を過ごせたのではないかと考えております。

初日は、特別講演を3名の先生に行っていただきました。室谷健太先生(愛知医科大学)は『医学部の中で統計家は何やってるの?』、山本卓先生(広島大学院)は『ゲノム編集研究の現状と可能性』、五味勝也先生(東北大学大学院)は『麹菌研究遍歴30年～僕が麹菌を研究している理由(わけ)～』という内容をそれぞれご講演していただき、セミナー開始早々活発な議論が繰り広げられました。つづいて、研修セミナーでは、根本章代先生(株式会社インソース)を講師としてお招きし、アサーティブコミュニケーションという、一見、聞きなれない研修を受けていただきました。この研修では、相手の意図を汲み取り、自分の伝えたいことをスムーズに伝えるためのスキルを学びました。ほとんどの方が初対面であるにも関わらず、グループワークも和気藹々と進み、会場全体の空気もかなり温まってきました。夕食の後ポスターセッションへと移行し、学生・一般を合わせ、計68演題と過去最大数であり、熱い『異種格闘技戦』が繰り広げられたと思います。またセッション時間も例年よりも30分多くとりましたので、より深い議論を交わせられたのではないかと考えております。入浴・休憩の後、10名くらいのグループを16個作り、ポストイットディ

スカッションを行いました。初の試みであるこのイベントの内容は、普段から気になるテーマに関して意見をポストイットに書き、模造紙に貼り付け、最後に意見をグループ化&見える化してまとめて行くといったものです。複数人が同時に意見を出せるという点もあり、たくさんの方の意見が飛び交い、交流会をかねた本イベントはかなり盛り上がったと思います。タイトスケジュールの中ではあったのですが、遅い時間までほぼ全員の方が参加してくださり、これぞ『若手会』だなと感じました。そのまま懇親会へと突入し、夜通し親睦を深めた方々もいらっしやるようでした。

2日目は、特別講演からスタートしました。神谷哲先生(株式会社明治)は『人の飲み込み現象を科学する～医食工連携による学際領域への挑戦～』、嶽北和宏先生(医薬品医療機器総合機構)は『PMDAの業務と私のこれまでのキャリアについて』、成川真隆先生(東京大学大学院)は『食べ物の好き嫌いはどのように生じるのか?』、大池秀明先生(農業・食品産業技術総合研究機構)は『体内時計+栄養学』という内容をそれぞれご講演していただき、初日から衰えない活発な議論が交わされました。お昼休みを挟んだ後も、まだまだイベントは続きました。新たな試みである、名刺を使用した抽選会を行いました。2日間を通して交換した名刺を用い、たくさん名刺交換(交流)した人が有利になるような抽選会です。続いて、ポスター賞の発表&授賞式が行われました。最優秀ポスター賞に藤谷将也さん(名大院創薬)が、優秀ポスター賞に安保紘高さん(岡山大院)、榎本詢子さん(横国大院)、栗本理央さん(筑波大院)、馬場保徳さん(東北大院)、里村淳さん(京大院)が選出され、加藤竜司若手会会長より表彰が行われました。また、今回2回目となる歴代の生物工学学生優秀賞(飛翔賞)受賞者が審査員を務める飛翔奨励賞の受賞を行いました。審査員には、佐々木寛人さん、佐藤康史さん、仲嶋翼さん(第1回, 2012年)、曾宮正晴さん、野口拓也さん(第2回, 2013年)、岡橋伸幸さん、影山達斗さん、張斯来さん(第3回, 2014年)、一瀬桜子さん、榎本詢子さん、須志田浩稔さん、徳山健斗さん(第4回, 2015年)、に行ってください。2名の飛翔奨励賞を選んでいただきました。1名は最優秀ポスター賞にも輝いた里村淳さん、もう1名は立上陽平さん(京大院)が選ばれ、飛翔賞受賞者から、

表彰と審査のポイントをコメントいただきました。受賞者のみなさん、誠におめでとうございます。

閉会式では、第67回日本生物工学会大会での若手会総会・交流会のアナウンスを二神泰基先生（鹿児島大学）にアナウンスをしていただき、さらに河原正浩先生（東京大学）から、来年の夏のセミナーについてアナウンスをしていただきました。

最後になりましたが、今回の夏のセミナーの企画の機会をくださいました生物工学若手会の役員の方々、不甲斐ない実行委員長をいつも支えてくださいました幹事のお兄様方、多大なるご支援を賜りました日本生物工学会、中部支部、ご協賛を頂きました多くの企業様、ご講演を快諾してくださいましたご講演者の方々、そして何より

全国各地からお集まりいただきました参加者の皆様に、この場をお借りいたしまして、深く感謝の意を表したいと思います。そして、健康に、来年も、また来年も若手会夏のセミナーでお会いできる事を祈念いたします。

夏のセミナーの様子は、若手会ホームページ<<http://www.sbj.or.jp/division/young/>>で公開予定ですので、是非ご覧ください。

<実行委員>

蟹江慧（名古屋大学、実行委員長）、伊藤圭祐（静岡県立大学）、池内暁紀（株式会社豊田中央研究所）、金岡英徳（名古屋大学）、兒島孝明（名古屋大学）、清水一憲（名古屋大学）、高橋哲也（天野エンザイム株式会社）、中枘昌弘（名古屋大学）



講演会の様子



ポストイットディスカッションの様子



研修セミナーの様子



授賞式の様子



ポスターセッションの様子



全体集合写真